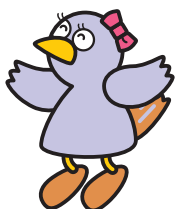


Saitama Ladies



keieisha Club



新会長挨拶



サイタマ・レディース経営者クラブ 会長 栗田美和子

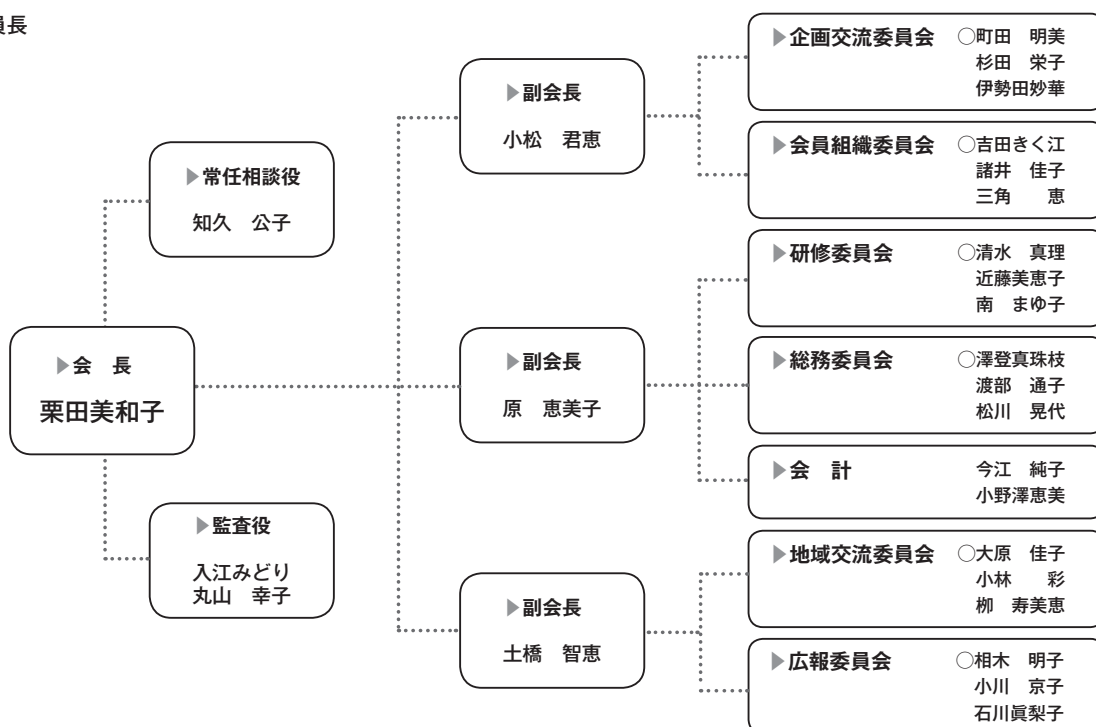
2021年度は2019年からの継続するコロナウィルスが終息できず、変革期の中での始まりとなりました。コロナ感染症による2020年4月の第1回緊急事態宣言から始まり、変異ウィルスの出現で、4月に大阪から始まったまん延防止等重点措置、そして、変異型ウィルスのまん延が関東にも広がり3回目の緊急事態宣言となりました。皆様の企業にも大きな影響が出ていることと思います。

さて、人類の歴史は疫病が何度も襲っています。ペスト、ハンセン病、梅毒、麻疹、天然痘、コレラ、結核等、最近ではエイズ、エボラ出血熱、SARSなどがあります。今回の新型コロナ COVID-19 は感染力が強かったこと、世界の交流が高まったことによって短時間でパンデミックを全世界に広げました。しかし、過去から人類はペニシリンや色々なワクチンの先人による開発で抑制されてきました。今回も世界では明るい兆しが出ています。日本も下期には抑制できるものと信じています。

さて、私はこの2021年から8代目サイタマレディース経営者クラブ会長の任に着きます。私がこのサイタマレディース経営者クラブと出会ったのは1989年の「レディース・トップスクール」です。はや、30年を超える年月が経過しました。あの頃は子供の育児に追われる中、経営の陰りを感じて「学ぶ場」を求めての参加でした。色々なことがありましたが、お陰様で企業継続と発展が出来てきたと思います。しかし、世界の変化振幅とスピード加速の中で変革が世界で進んでいます。我々も今年の干支の辛丑ごとく新しい芽吹きの前準備をしっかりと、これからの変革に対応し下期には芽をしっかりと出して行きましょう。皆様と一緒にそれぞれの企業の発展と継続を「学ぶ場」にサイタマレディース経営者クラブをしたいと思います。そして、皆さんの企業が地域と従業員にあって良かった企業になり、サイタマレディース経営者クラブが入って良かった団体になりたいと思います。さあ、一緒に活動しましょう。

令和3年度組織図

○：委員長



令和 2 年度定期総会

日時 令和2年6月2日（火）

6月2日（火）に令和2年度総会、講演会、および懇談会を開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、例年通りの開催は控えることとなりました。総会のみ書面審議による開催とし、講演会は延

期、懇談会は中止となりました。

会員の皆様からの書面による審議をいただきました結果、事業報告、事業計画、役員一部改選などの議案が、賛成多数をもって原案通り承認可決されました。

大野知事表敬訪問

日時 令和2年8月31日（月）15:45～16:15
場所 知事室

まだまだ残暑が厳しい8月の終わりに、知久会長をはじめ、当会会員8名で、大野知事へ表敬訪問いたしました。その際、当会会員に対して実施アンケート（「新型コロナウイルス感染症に伴う事業への影響に関するアンケート」）結果を提出し、また、県へ新型コロナウイルス感染症対策事業の支援として寄付金と花束を贈呈してまいりました。

新型コロナウイルス感染拡大については、「埼玉県



は、東京都と隣接しており、東京の問題は埼玉の問題といってもよいと考えている」とおっしゃっていました。また、アンケートに関して、「女性ならではのご意見は貴重であり、詳細に分析したいので、関係部に回付したい」という言葉もいただきました。

黄色い花束を渡してきましたので、このコロナ渦で大変な状況のなかですが、少しでも元気な気持ちになれると願います。

関東図書株式会社 相木明子



スキルアップを目指す女性起業家と経営者のための交流会

SDGs 研修 経営力アップ 埼玉ウーマンズカフェ

演題 SDGs の視点で“ウィズコロナ”を考える～持続可能な企業への転換～

講師 MS & AD インターリスク総研株式会社 リスクマネジメント第三部 フェロー兼サステナビリティグループ 産学官公民金連携・特命共創プロデューサー 原口真氏



酷暑の中で開催された埼玉ウーマンズカフェは、開催場所での受講のほかオンラインツール Zoom を活用した参加という、コロナ禍の世相を反映したものとなりました。第1日目は、講師の原口真氏により、これ

からの企業がウィズコロナの時代にあって SDGs に取り組む意義やその事例について基調講演があり、その後、次回に向けた課題が示され、グループワークが開始されました。原口氏は

- ・この課題に正解はない
- ・柔軟な発想は子どもに見倣う
- ・妄想にこそヒントがある
- ・会社の名前など変えてよい
- ・とにかく妄想しまくれ

など檄を飛ばされ、その熱意に圧倒されました。

第2日目は、参加人数が会場5人、Zoom 1人と少ないものの、出された課題に対し、3グループからの発表がありました。



●グループ5

安全安心百年住宅に向け環境に配慮した「丸太杭」の開発～住み続けられるまちづくりを～

●グループ6-①

子どもから高齢者までを対象にオンライン教育サービス～質の高い教育をみんなに～

●グループ1-②

障がい者に特化した放課後デイサービス～誰一人置き去りにしないために～

以上の発表に、武銀様が融資の観点から、また保険

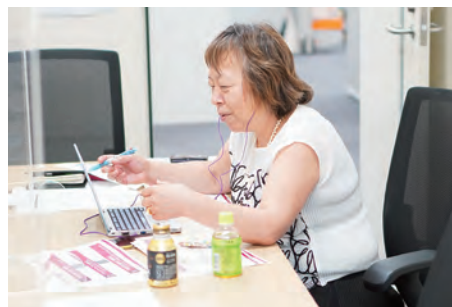
日時 1回目 7月21日(火) 15:00～16:30
2回目 8月19日(火) 15:00～16:30

場所 武蔵野銀行本店、Zoom

主催 サイタマ・レディーズ経営者クラブ、武蔵野銀行

後援 埼玉県、埼玉中小企業家同友会（ファム）、(公財)埼玉県産業振興公社（創業・ベンチャー支援センター埼玉）、さいたま商工会議所（女性起業家ネットワーク CCS）

会社様に対応する商品をご紹介下さるなどご助言をされ、最後に原口講師の講評をいただき有意義な研修となりました。



埼玉西濃運輸株式会社 澤登真珠枝

埼玉県女性経営者支援セミナー

日時 令和2年9月15日(火) 15:00～17:00
場所 新都心ビジネス交流プラザ4F 会議室、Zoom
主催 サイタマ・レディース経営者クラブ、埼玉県

第1部 演題 「失敗事例に学ぶ事業承継の進め方」

講師 公益財団法人埼玉県産業振興公社 埼玉県よろず支援拠点
チーフコーディネーター 越智隆史氏

冒頭、コロナ禍により、事業承継をあきらめようとしている方も多いと思いますが、このセミナーで講師の越智氏自身の失敗事例から学んでほしいとお話がありました。



①よろず支援拠点の説明

24名の専門家が在籍。当会員の近藤様もそのおひとりです。経営の事なら何でも、何度でも無料で相談できます。また、商工会議所や商工会、埼玉県、ミラサポ等々と連携しています。

【事例】**外食支援** 串屋の店舗内を密にならないで、選びやすくできるようにレイアウトを変更し、リニューアルの費用に、持続化補助金を使って実現。

今年は、昨年より相談件数は増加傾向にあります。コロナ禍だからこそ、相談して下さい。

②事業承継・相続に関して越智氏が実際に関わられた、失敗事例から（佃煮屋の事業承継）

まず、母親から叔父さんに事業承継がされておりその後、その叔父さんが急逝。

その後継いだが、人手に渡ってしまう。先代が生きている間に一緒に仕事をしなかったことが失敗となる。今できることをしっかりやっていくことが大事。

まとめ

- ①知識をしっかり身に着ける。
- ②今できることをしっかりと準備する
- ③将来を一緒に考える人がいるか。将来を見据えているか。

※大手企業に学ぶ成功事例

ローソンは、ローソンとナチュラルローソン、成城石井（高級スーパー）、ユナイテッドシネマ（チケット、シナジー効果）を子会社化。将来を見据えた経営であった。

下記テキストについての説明をしていただきました。

中小企業経営者のための事業承継対策（中小機構） 事業承継マニュアル（中小企業庁）

計画的事業承継のため、計画書を作る目的は後継者と話し合うことにある。コツは、話し合うきっかけに第三者を入れるとよい。よろず相談支援拠点、商工会などの専門家に相談してください。経営者保証は、連帯保証について、必要以上には取らないようになってきているので、是非相談をしてください。



第2部 演題 「埼玉県事業承継ネットワークのご案内」

講師 埼玉県事業承継ネットワーク事務局
事業承継コーディネーター 富澤紳氏・宮本徳之氏

2025年問題とは、2025年になると中小企業の経営者の2/3が70歳に達し、245万社の経営者が70歳以上に達することを意味します。埼玉県事業承継ネットワーク事務局の活動は、気づきの機会の提供・マッチング支援・経営者の個人保証の適正化の検討をおこなうことです。

また、プッシュ型支援が行われています。ウェブサイトにて、株価評価サービスが無料ででき、大まかな指標を知ることができます。

経営者保証を不要にする制度、事業引継ぎ支援センターの説明もありました。

早目に、準備をしていくこと。準備す

るにあたり、専門家の指導、知識が必要であることを学びました。気軽に相談できる窓口がたくさんあることは頼もしいです。



川合運輸株式会社 川合恵子

「コロナ対応・報告会」交流会（第1回）

当日は、アフタヌーンティーを楽しみながら話し合っていたり、参加者へ事前にアンケート調査結果と共にティーバックを送付しました。

初めに、「新型コロナによる事業影響に関するアンケート調査結果」について簡単に説明しました。「アンケート結果」は5月末までの状況を示したものであり、参加者は会社の現在までの状況およびその間の経営者としての思いなどについて話し合いました。

①コロナによる事業環境の変化

- ・観光に関わる業種では緊急事態宣言の影響で売上が激減し、前年同月比90%以上減少した月が続いた。
- ・商店街の多くの店が休業する中でもお客様のニーズに応えたいと店を開けていたが、来店客が大幅に減少、売上減となった。店員の一部からはなぜ休業しないのかという声もあり、対応に悩んだ。
- ・保育園や子育て支援事業では行政の要請で休業を余儀なくされたが、利用者からの切実な声に対応できないことへの心の葛藤があった。
- ・イベント的な事業はゼロだったが、その他の事業の柱で、多少なりともカバーできた。事業の柱を何本か立てることの大切さ（リスク分散）を感じた。
- ・コロナ禍の影響で廃業した取引先があり、また継続した企業でも料金の見直しを要求された。
- ・できる限り在宅勤務に移行した。
- ・現在は経済活動が少しずつ回復してきたこともあり、それに伴い改善の兆しがみえてきている。

②衛生面での対応

- ・ほとんどの事業所で、手の消毒、換気、間仕切板、体温管理等を徹底していることが分かった。
- ・社内で、社員それぞれの衛生管理へ取り組む姿勢に温度差があり、苦慮している。
- ・外国人労働者を要する事業所では、各言語で分かりやすく記した文書をタイムカードのそばに貼った。

③従業員への対応

- ・パートさんへは休業を要請した。
- ・パートさんから休業申し出があり、社員で対応した。
- ・社員の中でこの状況に危機意識を持つ人がでてきて、頑張ろうという声が出てきたのはよかった。
- ・売上減でボーナスが減り、社員から頑張らなければという声と共に不満もあり、複雑な思いだった。

日 時 令和2年9月15日 14:00～14:50
場 所 新都心ビジネス交流プラザ4F 会議室、Zoom
テーマ コロナ対応の現状と課題

④新たな取り組み

- ・一度、事業全体を見直すいい機会になった。
- ・製造工程でこれまで一人が一つのパーツを専門的にやっていたことを、ローテーションを組んで全員が学び、オールマイティでできるようになった。
- ・これまではお客様と対面がメインだったが、電話やZoomを利用して行い、好評を得ている。
- ・取引先や関係企業の協力を得て、売上減の企業に仕事を優先的に回してもらえよう、働きかけをした。

⑤その他

- ・融資を受けようと銀行に相談したところ、コロナの影響で銀行金利が上がったと言われ、予定が立たなくなった。

交流会では参加者の皆様の頑張りに共感、感動する声飛び交い、それぞれが改めて「自分も頑張らなくては！」と思いながら、初めてのZoomを終了いたしました。お忙しい中、ご参加いただいた皆様には心から感謝申し上げます。



「コロナ対応・報告会」 交流会（第2回）

＜話し合いの主な内容＞

参加者には前回同様、事前に紅茶パックをお送りし、当日はアフタヌーンティーを楽しみながら語り合いました。知久会長より、「前回同様、皆様と本音で語り合えたらと思います」とのご挨拶に続き、第1回交流会の報告をし、「テレワーク（オンライン）導入の現状と課題」をメインに話し合いが行われました。

●テレワーク（オンライン）の現状

- ・製造・運輸・保育業ではテレワークは現状に合わないため、現場ではほとんど取り入れていない。
- ・人事、総務、経理などの間接部門は可能だが、現場で人と接する仕事の場合は難しい。
- ・社内会議や勉強会・セミナーなどは、製造・運輸・保育事業等の会社も積極的に活用している。コロナ以降、毎朝の会議はネットで行っている会社もあり。
- ・社内情報を本社でデータとして集約、各部署がオンラインでそれら情報をダウンロードして、全社で情報共有している。
- ・以前から社員へはパソコンとスマホを支給して、社外にいても情報共有ができるようしていたが、コロナ以降、さらに拡充した。
- ・ユーチューブを活用して情報発信し、コミュニケーションの活性化を図った。
- ・スケジュール管理は、サイボウズを採用するようになった。
- ・ラインを使っのスタッフとのやり取りをしている。
- ・オンラインで事業（婚活）を始めた。

●テレワーク（オンライン）の課題

- ・顧客が対面（リアル）での説明や打ち合わせを希望するため、オンラインにしたくてもできないことがあり、顧客の希望に応じて対処している。
- ・対面の方がお互いの気持ちが伝わりやすいと感じている。
- ・事務的な話し合い以外で、人とゆっくり話をする機会が少なくなった。
- ・社員の方が慣れているので、自分もオンライン関連のスキルを学ばなければならないと思っている。

日 時 令和2年11月17日（火） 14:00～15:00
場 所 新都心ビジネス交流プラザ4階会議室、Zoom
テーマ テレワークの現状と課題

●ZOOMのメリット・デメリット

- ・会議開催に当たって移動時間が少なく、会議進行を効率的に行うことができる。
- ・目的が具体的な会議には非常に効率的である。
- ・ZOOMの録画機能を使い、正確に記録できる。
- ・本音での意見交換ができる。
- ・フリートークから思わぬ方向性が見えたり、新たな企画が生じたりすることが多々あるが、ZOOMではなかなか難しい。
- ・ZOOMでの長時間のセミナーは一方向的に話を聞くだけになることが多く、受講者にはつらいようだ。



●感染予防対策

- ・電車通勤を車通勤に変更させた
- ・遠方の社員には自社持ち家を社員寮とした
- ・マスク着用、検温、アルコール消毒の徹底。ドライバーに休日の検温結果を提出させている会社もあり。
- ・社内会議でも、密を避ける工夫をしている
- ・時短営業を徹底し、全社員残業なし。社員へは残業代補填のためベースアップした会社もあり。
- ・現場に行く際は抗体検査をして陰性証明を提示した。

以上、大変たくさんのご意見をいただきありがとうございました。テレワークについてはセキュリティの関係もあり、安全性も含め慎重に検討していかなければならないと思います。経営者として考えていかなければならない課題が山積みですが、最大限のコロナ対策を行って頑張ってまいりましょう。お忙しい中、ご参加いただき心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

～埼玉を女性起業家の街に～

SAITAMA Smile Women ピッチ 最終審査会



SAITAMA Smile Women ピッチは、埼玉県主催の国内外で活躍する女性起業家のロールモデルを目的とした女性のためのビジネスプランコンテストです。令和2年11月29日に大宮ソニックシティにて、1次の書類選考、2次の面接審査を勝ち抜いた6名によるプレゼンテーションの最終審査会が行われました。また今年度は感染症対策として初のライブでのWEB配信を行い、延べ623名の方が観覧されました。

< 最優秀賞 >

「捨てないアパレル」を浸透させるセミ・オーダーとリメイク事業」株式会社ニニ 保坂郁美様

保坂様はSDGsと「捨てないアパレル」をテーマにこれからのアパレル業界に変革を起こしたいとご応募されました。

その他の受賞者は以下の通りです。

< 優秀賞 >

「介護を食で支える“埼玉県内初”居宅介護支援事業所併設のカフェ事業」合同会社マルトク 小室舞様

< ソーシャルビジネス賞 >

「洋室が作れ車椅子がスムーズに使える最強の畳「リフォーム畳®」 大山畳店 大山恵美子様

< ビジネスアイデア賞 >

「オンライン禅道場で持続可能な未来に寄り添う心教育の提案」禅教育普及会 王溪様

< 奨励賞 >

「おせっかいママが地域を繋ぐ心のバリアフリーカフェ健康居酒屋」河合麻美様

< 奨励賞、オーディエンス賞 >

「福祉の場にときめきを！「HULA体操」で活躍する方をサポート」ヒナ・ミヤコ様

日時 2020年11月29日（日） 13:00～15:45

場所 大宮ソニックシティ第一展示場

主催 埼玉県公益財団法人埼玉県産業振興公社

共催 公益財団法人埼玉県産業文化センター、埼玉中小企業家同友会 女性経営者クラブ・ファム、サイタマ・レディース経営者クラブ、一般社団法人埼玉県商工会議所連合会、埼玉県商工会連合会、一般社団法人埼玉ニュービジネス協議会

また、2月15日にはZOOMにて、今回の受賞者を交えた女性起業家意見交換会が行われ、当会副会長の株式会社コマームの小松君恵様が基調講演をされ、55名の埼玉県内の女性起業家が参加されました！



株式会社アイエラッシュ 南まゆ子

埼玉県女性経営者支援セミナー

演題 『『向き合い方をかえてみた』 認知星人じーじとの楽しむ介護』

講師 株式会社ケー・アール・プランニング 代表取締役 黒川玲子氏

「介護」ときくと、つらい、大変…などのイメージが思い浮かびますが、黒川さんの話を聞いて、前向きなイメージに変わりました。同時に、私自身、認知症について知らなすぎるなと痛感した時間でした。



認知症の初期症状は、怒りっぽくなったり、だんだん忘れていくことが多くなったりと、今までと違って「なんだろう」という不安になる方が多くいらっしゃるそうです。症状が進んでいき、最後には食べることを忘れて、食べられなくなっていった後に亡くなっていく。ただ、認知症の症状は十人十色。認知症の方の行動には全部意味があり、それを理解するだけでも全然違う。また、認知症対応には、否定しない、叱らない、無視しない、失笑しない、馬鹿にしない、という5原則があるようです。

その後、黒川さんご自身のお父様の在宅介護話を聞かせてくれました。認知症と思ったのは、今から約2年半前。いつも規則正しく食事をされているお父様でしたが、毎日コンビニの昆布のおにぎりがおいてあることが続いた日があったそうです。「なんで？」ときいたら、穏やかな父が、ぱん！と机をたたいて怒ったことがあったときに、認知症を疑ったきっかけだったそうです。

頭ではわかっているけど、黒川さん本人も当初はイライラしてしまっていたようです。「今までお世話になった父に、なんでイライラをしてくれているんだろう」と思い、天国に行くときに幸せだったよと思ってもらいたいと心から感じ、それができるのは私しかない。父を否定しない、受け入れる。認知星人に変身していると思うようにした。認知星には認知星の常識があると。私は地球の防衛軍として頑張るんだ。」と思

日時 令和2年12月15日(火) 15:00～17:00
場所 新都心ビジネス交流プラザ4階 会議室、Zoom
主催 サイタマ・レディース経営者クラブ、埼玉県



いを変えて接するように。

「認知星人と考え方を変えなかったら、絶対怒っていたと。父がいなかったら、私はいなかったと思うようにしています。父の世話をさせてもらおう私の方が幸せなんじゃないか。」と。介護に対して、このように前向きな姿勢を持てることにも感動しましたし、当事者の苦労を一部感じる事ができ、より身近に介護・認知症について考えるようになりました。

高齢者の5人に1人が認知症になると言われているようです。黒川さんがおっしゃっているように、いくつになっても安心して過ごせる世の中になるといいと強く感じました。



サイタマ・レディース経営者クラブ和食のお作法会



師走のホテルブリランテ武蔵野サファイアにて、オフィス・プリムラ代表西田奈保子講師をお招きし、和食をいただきながらテーブルマナーを学ぶというお作法会が開催されました。一つの円卓に3～4名という、3密を避けソーシャルディスタンスに配慮した形で、総務委員会の方の創意工夫により、やっと実現した会でした。

最初に講師より全般的な作法の説明があり、その後はコースのお料理が運ばれる都度、どのように頂くかなどのお見本を実際に見せて頂きました。箸の使い方、割り箸の割り方、お椀の挙げ置き方などなど。本で調べるよりずっとわかりやすく実践的で、とても約に立つ内容でした。

自分では一大人の女性として、日常的にお作法は理解できていたつもりでしたが、大きな誤解もあり、“なるほどな”の連続でした。知らず知らずのうちにやっ

日時 令和2年12月15日(火) 18:00～
場所 ホテルブリランテ武蔵野 2F サファイア
講師 オフィス・プリムラ 代表 西田奈保子氏

ていたことが、間違えていたなんて。この日を境に、少しレディーになった気がするのはいのちのせい？

2020年はコロナ色で、なかなか会食が出来ない状況でした。しかしながら、お作法会に参加して、久しぶりにレディースの皆様とお話できたことは、とても嬉しく幸せなことでした。

今回学んだ成果を披露すべく、楽しく美しく食事が出来る日が来ますよう、一日も早いコロナの終息を願うばかりです。



行政書士諸井佳子事務所 諸井佳子



会長年頭挨拶

今年は、なかなか会員一同が集まる機会を作れず、直に会長からご挨拶をうかがうことができませんので、会長の年頭に当たっての挨拶を動画としてYouTubeでご覧いただけるようにいたしました。YouTubeをご覧いただいていない方へも会長のメッセージが届くよう、こちらに全文を掲載いたします。



会長 知久 公子

会員の皆様 こんにちは。

サイタマ・レディース経営者クラブの会長 知久でございます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

本来でしたら、この2月2日に新春講演会・懇談会が開催されて、皆様と楽しく語り合えたところですが、新型コロナウイルスの影響拡大により緊急事態宣言が出され、中止を余儀なくされました。

ここで、今年度の事業について少しお話しさせていただきます。

1. Zoomによる役員会・セミナーの開催

6月の総会以後、このままでは事業が停止してしまうことから、いち早くZoomを取り入れました。

2. コロナ関連のアンケート調査

皆様のご協力を頂き、問題点を整理して大野知事にお渡ししました。その際、医療従事者への寄付(10万円)を行いました。

3. ロゴの作成

埼玉誕生150周年にあわせて、皆様に投票頂き、厳正な審査の元にロゴが決定しました。当クラブに合うとても素敵なロゴです。

4. 武蔵野銀行様と共催で埼玉ウーマンズカフェを開催

7月と8月と2回埼玉ウーマンズカフェを開催しました。「ウイズコロナを考える」というテーマで原口先生を講師に行いました。初のグループ討論、先生との双方向による講義を経験しました。

5. 研修委員会主催「失敗事例に学ぶ事業承継の進め方」セミナー

9月に、よろず支援拠点の越智先生に講師をお願いしました。

6. 企画交流委員会主催「テレワークの現状と課題」の討論

9月、11月の2回、アフタヌンティーを楽しみながら、参加者の現状と課題を話し合いました。勿論Zoomです。

これまで経営者はコストと技術力、そして人と人の繋がりを大切にしてきました。「製造・運輸・保育」などではテレワークに馴染まないこと、現場で人と接する事業の場合は難しいこと、「テレワークで仕事をする」ことは業務の効率化と言う点ではとても良いのですが、人と人との繋がり、会社と社員の繋がりと言う点で見ますと、対面の場合とは齟齬があることを否めません。参加者の切実な声をお聞きしました。

7. 研修委員会主催「介護」をテーマにセミナー

12月は「介護」をテーマとした黒川先生によるセミナーを開催しました。黒川先生には、レディースにご入会頂きました。

8. 地域交流担当の「埼玉大学との合同授業」

1月22日にダイバーシティ論入門～ダイバーシティとインクルージョン～をテーマに合同授業を行いました。3名の会員がパネリストとして発表し、その後グループ分けし、学生とディスカッション、グループ発表と充実した一日でした。

9. 新春講演会の「免疫力を高める食と音楽で感染症を予防する～従業員の健康管理とモチベーションアップを目指して～」は、時期に合った講演ですが、コロナの影響を受けて来年の新春講演会に延期となりました。

10. 総務委員会担当の「浦和競馬場の視察」

3月31日にもう1つ「浦和競馬場の視察」があります。浦和競馬場は県の公営管理施設であり、貴賓室が改修されたので、是非一度、見学にお越しくださいと言うお話しを受けました。まもなくご案内があると思いますので、ご興味のある方は是非お申し込みください。当日は、桜花賞S1(地方競馬)の開催日とこのことですので、競馬観戦は初めての方でも楽しめると思います。私も初めてですので楽しみです。

このコロナ禍において1つ良いことがありました。それは埼玉誕生150周年の機会に、さいたまが誇る偉人「渋沢栄一翁」のドラマ「晴天を衝け」が始まったことです。コロナ禍では暗い話が多い中で、とても明るい話題ではないでしょうか。

当クラブでは、新一万円札の顔に決定したことを受けて、昨年の11月に「渋沢栄一誕生の地、深谷」に19名で行きました。幕末から明治、大正、昭和という大きな時代の渦に放浪されながらも高い志を持って、未来をしっかりと見据え、切り開いていく「生命力溢れる」姿は、私たち経営者にとって学ぶことが多いと思います。特に主演の吉沢亮さんの力強い、魅力ある演技が絶妙ですね。

かつて、日本は、オイルショックやリーマンショックといった困難がありましたが、皆それを乗り越えて来ました。これからは、このコロナの経験をいかして難局を突破するために知恵を絞って行くことが必要となってまいります。

課題が山積しておりますが、当クラブの会員の皆様におかれましては、しっかりとコロナ対策を行って頂きまして、このような時期だからこそ、どのような場面でもポジティブに、見たり考えたりしてコロナの先を見据えて参りましょう。

まだまだ寒暖の差が大きい日々が続きますので、体調管理に努められ、元気でまたお会いしましょう。

会長年頭挨拶は、下記のURLでご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=TIAXPtcCD4c>



埼玉大学×サイタマ・レディース合同授業

授業名 ダイバーシティ論入門

テーマ 「経営活動」とダイバーシティ

講師 埼玉大学 ダイバーシティ推進室 准教授 幅崎麻紀子氏



埼玉大学幅崎准教授による『ダイバーシティ論入門』に参加し、フレッシュな現役大学生と積極的に意見交換をしてきました。幅崎准教授は、具体的な女性起業家の割合の数値などをあげながら、実際の世の中ではまだまだ男女の差があることが数値で示されていました。

【パネリスト発表】

me life woman (ミライフウーマン)

代表 岩見真里子氏

キャリアコンサルティング、セルフ・キャリアドック導入支援、FP事業を手掛ける。



起業のきっかけは、卒業後、幼稚園教諭、アパレル量販店本社で販売促進、総務課、金融機関にて営業、社員教育という経歴を経て、2015年に女性活躍推進法が施行され、起業するならこの年と思い、起業。本格的に現在のキャリアコンサルティングを始めたのが2019年。

今後は、インクルージョン推進、エンパワーメントで組織活性化などニューノーマルへの対応。SDGsにあわせて、2030年までにディーセントワークの実現という大きな目標を掲げる。

株式会社アイエフラッシュ 代表取締役 南まゆ子氏

3つの会社の代表。まつげエクステ・まつげパーマ(株)アイエフラッシュ、美容商材制作・販売の(株)アイマーケット、約3年前には、主に子ども向けの人材教育、女性起業家の支援を実施する(一社)HERS PROJECT 設立。



大学で英米語を勉強していたが、911があり、旅行会社へは就職できず、フリーターに。その後結婚・出産し、専業主婦へ。社会復帰する際、子どもが小さ

日時 令和3年1月22日(金) 13:30～16:20
場所 埼玉大学、Zoom

い女性を雇用してくれる企業も少なかったというもあり、個人で、自宅でやってみようと28歳に起業。何をやるかより、どう働くかが大事と訴える。

株式会社生きいき 代表取締役 柳寿美恵氏

6カ所で、高齢者、障がい児、障がい者の介護の事業を実施。『メア



ホオキバ』は、ハワイ語で「最上級のおもてなし」という意味で、全ての利用者様へ最高のケアを心掛ける。カンボジアでの井戸掘り活動や、子ども食堂の実施など幅広い事業・活動を手掛ける。障害を持っている方が楽しく過ごせることをモットーに。介護は、24時間仕事があるので、自分で働き方、働く時間を選べる仕事。

起業に不安はなかったが、介護保険が2カ月後に入るという計算をしていなかったため、そこだけは金銭的には大変だったという。

後半のグループディスカッションでは、なぜ起業したのか、なぜ働くのかなどについて話し合いました。

学生みなさんからの感想として、当会会員の経営論に賛同する意見や、「経営者は、経営学を学んできた人たちがばかりと思っていたが、案外身近な理由で起業していることがわかり起業が身近に感じた。」「実際に経営している方から話が聞けてよかった。」など声がありました。



関東図書株式会社 相木明子

浦和競馬場視察研修

3月末に、埼玉県浦和競馬組合の副管理者である渡辺充様からお声がけいただき、埼玉県知事を管理者とする公営競馬を視察し、一部事務組合としての公共性並びに優位性を視察研修するべく、浦和競馬場へ訪問してまいりました。

当日は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、無観客レースでした。通常馬主さんや報道関係者などがあるボックス席から桜花賞などの競馬を観ることができました。このような公営競馬では、その収益を、協議を開催する地方自治体の財政健全化に役立てられるだけでなく、畜産振興や、馬事文化の普及啓発に寄与する形で社会に還元されているようです。

個人的な話ですが、南浦和で育ちましたので、浦和

日時 令和3年3月31日(水) 14:00～17:00
場所 埼玉県浦和競馬組合

競馬場へ行く人が南浦和駅からバスに乗る風景を当たり前のように見て育ちました。今回の視察で、より身近に競馬を感じることができました。私的には、花火大会が開催されたり、競馬が開かれていないときは、広場で遊べたりと、「そこにあるのが当たり前」な存在でしたが、行かれた方の感想の中に、「住宅街にあったので、びっくりしました」というご意見があり、確かに言われてみればそうだなと新鮮な視点でも感じ取ることができ、とても貴重な経験となりました。

関東図書株式会社 相木明子



新型コロナ感染症対策に伴う事業への影響に関するアンケート

(一部省略)

令和2年6月に実施した当会員に向け実施した「新型コロナ感染症対策に伴う事業への影響に関するアンケート」結果をご報告いたします。このアンケートは、当クラブに所属する会員の現状を把握し、情報の共有と有効な対策の一助となるよう実施いたしました。また、こちらのアンケート結果は、女性経営者がどのように考えているかの参考にさせていただくため、埼玉県大野知事へも提出しております。

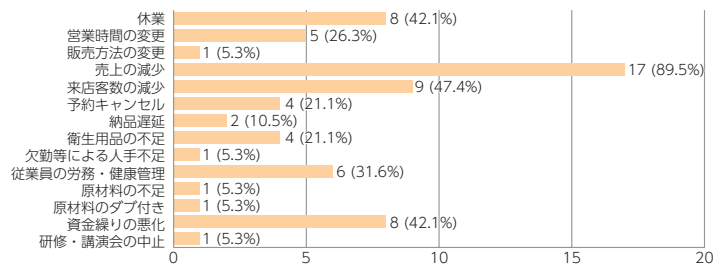
令和2年6月19日集計 (31名回答)

事業活動への影響について

事業活動	既に影響がでている……………61.3%
	今後、影響が見込まれる……………19.4%
	特段の影響はない……………19.4%

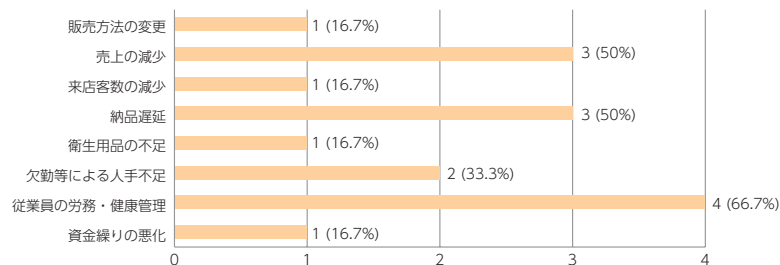
既に影響がでていると答えた方は…

►具体的に、どのような影響が出ていますか。(複数可)

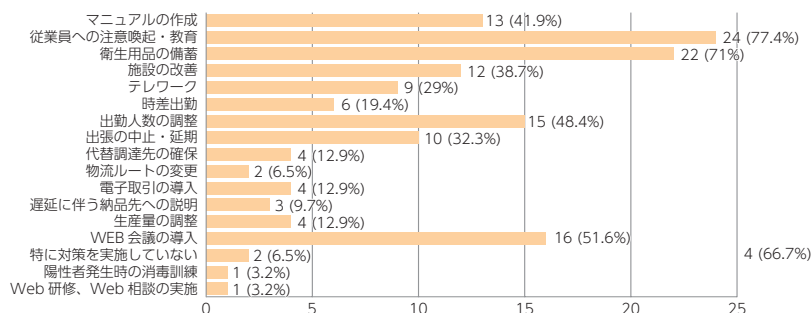


今後、影響が見込まれると答えた方は…

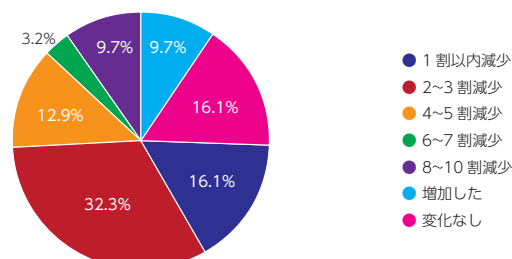
►今後、どのような影響が見込まれますか。



►実施中の対策(複数可)

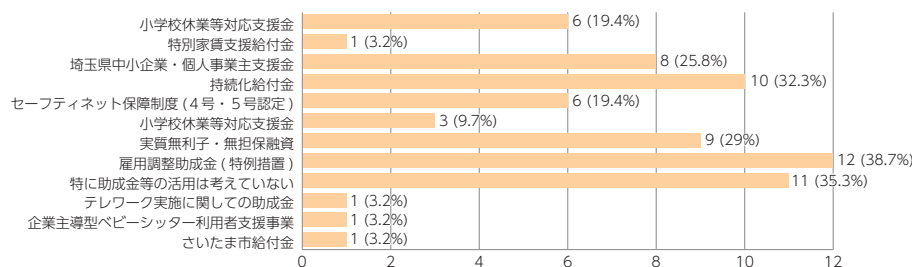


►前年同期(1～5月期)との事業収入の比較について



助成金等の活用について

▶実際に活用しようと思っている、または、すでに活用している助成金等について



実際に取り組んで

(1)取り組んだこと

- テレワーク、時差出勤、書類の電子化、リモートの活用、オンライン研修・会議・SNS発信
- zoomやSkypeなど、会わずに打ち合わせをすることを提案
- 全従業員を対象にコロナ感染危険のため「見舞金」を交付(3~5万円)した。
- 時差出勤、休職希望者を休職させる
- 施設内の衛生、物販方法、客対応のマニュアル
- 衛生品の確保は、初期段階で完了できた、業界団体から、マスクが配られましたが、遅すぎでした。雇用調整助成金は、制度がどんどん変わっていくので、情報収集が大変でした。
- 振替レッスン・講師自宅待機・別会社での事業に転換
- マスク着用、手洗い、消毒(除菌)アルコールが入手出来ないため次亜塩素酸水
- 定期的に地元保健所の考え方のヒアリング、お得意先様への陽性者発生時に関するアンケート調査、従業員に母国語での会社の対応内容の配布2度、事務所、食堂、喫煙所のビニールカーテンの実施、ミーティング参加者記録、食堂使用記録、緊急連絡網体制の確立
- 資金確保、補助金助成金申請、融資条件変更、販路拡大、DM通販
- 勤務日調整
- 各種補助金等の申請 テレワーク Webでの研修やカウンセリング
- 消毒薬設置 飛沫防止対策
- 生産を止めないために、製造部門の人員をグループ分けし、グループ単位での勤務とした。万グループ内で感染者が出た場合、別グループでの製造を行えるように。
- 電子通信の取り入れ
- 厚生年金納付猶予申請 小規模事業者持続化補助金
- ZOOMを使つての店長会議 シフト調整
- 三密を避ける勤務体制・打ち合わせ方法を取りスタッフたちと顧客の安全と健康に配慮
 - ・事務所を分散してスタッフを少人数で配置する為、新事務所を用意。
 - ・電車通勤のスタッフに車の貸与、宿泊場所の用意をした
 - ・顧客とのWEB打ちあわせを推奨
- 今後の見通しが不透明なので国の対策である持続給付金を準備
- 飛沫防止用の大型パネルを設置、マスク、アルコールの常置
 - ・密を避けるために電話相談、郵送による受け渡しの実施、予約制の導入
 - ・職員の出勤日数の調整
- DM、ネット販売、催事出店、卸営業、新商品開発(高付加価値商品)

(2)取り組んだけれど上手くいかなかったこと

- 実際には書類等の現物を見ないと判断できないため、訪問するしかなかった
- レッスン振替3月から6月現在では難しい。
- 担当役所への依頼をしたがお得意先の1部がコロナ陽性者発生時に商品返品がなかった。緊急連絡網が未だ完成していない
- 販路拡大
- コミュニケーション系の研修はWebでは対応しきれない
- 社内ネット会議。カメラ、マイクの不足。
- 通信障害
- マニュアル作成
- 顧客との打ち合わせにWEB利用を賛成してくださる方は一部で、面談を望まれる方が比較的多い。少人数で打ち合わせ、非接触のために間仕切を

用意、マスク着用 消毒液の用意を徹底しました

- 予約無しで来客が多かった。(コロナで会社が休みなので相談に来た等々)
- 新入社員の教育がままならない みんながちゃんと働いているかが見えてこない
- 新商品開発(時間が必要)

(3)県や関係機関に望むこと(要望や意見など)

- インターネットでの行政手続き簡略化
- 行政機関で対応する職員の対応の向上、相談に応えることの出来る職員の育成。
- 埼玉県内は都内と違い、地域に根付いた中小企業が多いため、そういった企業によりそっていただけると嬉しいです。
- 事業によって状況が違うと思いますが、色んなパターンの支援が欲しいと思います。
- 第二波、第三波を懸念しています。秋以降の対策等について、先手の対策をお願いしたい。
- ZOOMなど面談で、いくつかの助成金を全部相談窓口として受けてほしい。
- インフラに係わる通常営業をいなければならない会社に対しても消毒アルコール等を優先的に購入できる様にしてほしい。
- 相談窓口に関心させると地元保健所に問い合わせとの回答しなかった。問い合わせに関して県内統一のQAを随時更新して欲しい
- WITHコロナの現状ですすでに疲弊しきっている企業も多々ある。AFTERコロナを待たずして廃業を余儀なくされてしまう前にさらなる支援策を講じてもらいたい。
- 入札案件でも稼働していないからとサクッとOにするのは辞めて欲しい
- 本当に困っている人の声は聞こえずらい。声をあげられない人の声を拾うにはどのようにすべきかを考えてほしい。本当の弱者を救ってほしい。何とかしようと頑張っている経営者のメンター的な相談の実施が必要ではないか。
- 1.簡素化、スピード化
- 2.終息後の資金フォロー体制
- もっと対策を早くして欲しい コロナで影響を受けている企業に支援をすべきだと思う 思いつき支援ではなく、本当に経営が厳しい企業を支えてほしい
- 本当に困っている業種に対しての緊急融資
- コロナの第2波、第3波が予測されます 自粛の解除がされていますが状況による国や県の判断を今後も詳細に続けて発信してほしい。どの企業も取り入れる基準があることで、より安心 安全に留意しながら事業を進めることができる 又、自社にも他社にも同じ基準があることで信頼 信用が生まれることになる
- 中小企業や個人事業主は、コロナ渦のあおりを受けて倒産に追い込まれるケースが多い中、色々な給付金・助成金制度があっても、その金額は大きいものではなく実質的な支援策となっていないように感じる。その反面、休眠会社を悪用して借入れを行う事例も見受けられ、申請にあたって税理士や社労士等の証明書を必要書類(会社の営業実態を第三者による証明)とすべきではないか。
- 売り上げ減少率により、国、県、市町村がそれぞれ助成金を交付してほしい。
例) 50%以上…国 50%未満30%…県 30%未満20%…市町村というように金額も国、県、市町村で変えて広く救済の手を差し伸べてほしい。

今年度の出来事 | 2020.4 ~ 2021.3

2020

- 4月 • 新型コロナウイルス 緊急事態宣言発令
- 5月 • 緊急事態宣言 全面解除
• コロナ禍で夏の甲子園中止 戦後初
- 6月 • 河井前法相夫妻を逮捕 参院選買収事件
- 7月 • 将棋・藤井聡太七段が史上最年少でタイトル獲得
• レジ袋有料化スタート
• 九州で記録的豪雨 死者 77 人
- 8月 • 安倍首相が辞任表明
• レバノン首都で大規模爆発 150 人以上死亡
- 9月 • 菅内閣が発足
• テニス・大坂なおみが全米オープンで 2 度目の優勝
- 10月 • アニメ映画「鬼滅の刃」記録的ヒット

- 11月 • 米大統領選挙 バイデン氏が勝利宣言

- 12月 • 新型コロナウイルス 英国でワクチン接種開始
• はやぶさ2のカプセル回収

2021

- 1月 • 新型コロナウイルス 11 都府県に再び緊急事態宣言
• バイデン米大統領就任
- 2月 • ミャンマー軍クーデター スー・チー氏ら身柄拘束
• 福島沖で地震 最大震度 6 強
• 東京五輪組織委員会森会長が辞任 後任は橋本聖子氏
- 3月 • 東京五輪聖火リレー 福島でスタート
• スエズ運河で大型コンテナ船座礁



SAITAMA LADIES
Management Club

当クラブのロゴが新しくなりました。

会員の結束をさらに強め、会員一丸となってこの苦しい状況を乗り越えていくために、当クラブの過去、現在、そして未来をみんなで考えることを第一目的とし、そのシンボルとして、ロゴを新たに作成することにし、デザインを募集しました。
そこで、会員に広く募集したところ、応募いただいた 9 つの案の中から、厳正なる会員投票の結果、こちらのデザイン（関東図書株式会社）に決定しました。

応募時の
デザイン
コンセプト

県の花「サクラソウ」をモチーフに、女性経営者の個性と絆をイメージ。

5 つの色は、個性でもあり、経営者としての  手腕  愛情  学び  理性  活力 も表現。

編集後記

新型コロナウイルス禍が社会や経済に大きな影を落として 1 年以上の時間が過ぎました。昨年に引き続き編集会議は、Web での校正、ZOOM による画面共有により進めました。

直接会えないもどかしさや、目的以外の情報交換ができない寂しさがありますが、場所や時間を選ばずに進められる作業の効率の良さは、新しい日常により得られた価値あるものだと思います。

編集の作業でサイタマ・レディース経営者クラブの活動を振り返りますと、令和 2 年 6 月に現状を把握するアンケー

トを実施、情報を共有化し、ウィズコロナはもとより様々な経営課題を解決する研修等を実施、多くの方が参加されるなど、前向きに活動するいくつもの場面が浮き上がって参ります。生き生きと、ピンチをチャンスに変える女性経営者の、活動の記録集になったのではないかと感じています。

先が見えない状態が続きますが、次の会報でも躍動する女性経営者の姿をお伝えできることを確信しております。

ご協力くださった皆様、本当にありがとうございます。そして、会員の皆様、今後ともよろしくお願い致します。（河野）

■ 広報委員会（令和 3 年度）…………… 大原（担当副会長）、相木、小川、入江、川合、河野、下村、荒井、伊藤、久賀、西山（敬称略）

【埼玉県連携窓口】 埼玉県産業労働部産業支援課 担当 藤澤

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1 TEL 048-830-3903 FAX 048-830-4813

発行者 サイタマ・レディース経営者クラブ

会長 栗田美和子 ● 連絡担当課 埼玉県産業労働部産業支援課 電話 048-830-3903 ● 印刷 関東図書株式会社 電話 048-862-2901